

- (6) 音楽専攻  
次のいずれかに該当する者  
① 学習成績概評がB以上の者  
② 音楽の評定平均値が4.0以上の者
- (7) 美術専攻  
次のいずれかに該当する者  
① 学習成績概評がB以上で、美術又は工芸の評定平均値が4.0以上の者  
② 学習成績概評がB以上で、美術及び工芸並びにこれらに類する科目（素描、絵画、彫刻、ビジュアルデザイン、クラフトデザインなど）について計10単位以上修得又は修得見込みで、その評定平均値が3.5以上の者
- (8) 保健体育専攻  
次の項目全てに該当する者  
① 学習成績概評がB以上の者  
② 下記のスポーツ種目において、ブロック大会（例：関東大会）レベル以上に出場した者  
スポーツ種目：体操競技、陸上競技、水泳、球技（バスケットボール、サッカー、バレーボール）、ダンス、柔道  
③ 大学入学後、当該種目を継続しようとする意志がある者
- (9) 教育専攻  
学習成績概評がB以上の者
- (10) 教育心理専攻  
学習成績概評がB以上の者
- (11) 特別支援教育専攻  
学習成績概評がB以上の者

## ◎ 社会情報学部

下記出願枠のいずれか又は、GFL特別枠若しくはデータ解析特別枠を併願で出願することができ、合格者の判定は下記の出願枠それぞれで実施します。

なお、併願で出願した場合、GFL特別枠又はデータ解析特別枠で合格とならなかった者は、一般枠で合格となる場合があります。

### ○ 一般枠

社会情報学部を目指す一般的な選抜枠で、次に該当する者

- 調査書の学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者

### ○ GFL 特別枠

グローバル社会において地球的視野を持ちリーダーとなって活躍できる人材の育成を目指すグローバルフロンティアリーダー(GFL)コースへの所属を希望する出願枠で、次のいずれかに該当する者

- ① 調査書の学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者
- ② 学習成績概評がB（4.2～3.5）以上で、英語の評定平均値が4.3以上の者
- ③ 学習成績概評がB（4.2～3.5）以上で、次のi～ivのいずれかを取得している者
  - i. 実用英語技能検定（英検）：2級以上
  - ii. TOEIC Listening & Reading Test:550点以上（団体向けのTOEIC-IPを含む）
  - iii. TOEFL-iBT：42点以上
  - iv. GTEC（3技能）（OFFICIAL SCOREの印字があるSCORE REPORTに限

る)：675点以上

v GTEC (4技能) (OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る)：1105点以上  
なお、GFL特別枠・一般枠併願で出願する場合、一般枠の出願要件も満たしている必要があります。

GFL枠合格者は、入学後、本学の「卓越学生に対する授業料免除制度」の優先的適用の対象者となるとともに、1年次前期からGFLコースに所属し、短期海外研修などの活動に参加することになります。

### グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成プログラムについて

群馬大学では、本学の学生が「自国及び他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において主体的に活動できる人」となるよう、グローバルフロンティアリーダーの育成に力を入れています。その一環として、グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成プログラムを設置し、教育学部と社会情報学部が連携した「教育・社情グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成コース」、及び医学部と理工学部が連携した「医理工グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成コース」の2コースにより、日本語能力・国際理解を含む幅広い教養・外国語コミュニケーション能力の修得を中心とした教育を行うとともに、海外留学の経験を通して広い視野を持つ学生を育てます。

グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成プログラムに所属するメリット

- (1) GFL生限定の留学プログラム
- (2) 留学費用の補助として返済不要の奨励金支給(対象留学プログラムに参加した場合)
- (3) 外国人教員による英語学習特別プログラム
- (4) 語学試験の受験対策ソフト無料受講
- (5) インターネット環境・パソコン・各種教材を備えたGFL室の利用
- (6) 3年次終了時もしくは4年次前期終了時大学院に進学できる早期卒業・飛び推薦制度(早期卒業は理工学部 化学・生物化学科及び電子情報理工学科において実施。飛び推薦制度は化学・生物化学科のみ実施)

#### ○ データ解析特別枠

高度な情報にあふれる現代社会で活躍できる、データ解析能力を持つ人材を育成するデータ解析プログラムの履修を希望する出願枠で、次のいずれかに該当する者

- ① 調査書の学習成績全体の評定平均値が4.0以上の者
- ② 学習成績概評がB(4.2~3.5)以上で、数学の評定平均値が4.3以上の者
- ③ 学習成績概評がB(4.2~3.5)以上で、次のi~iiiのいずれかを取得している者
  - i. 実用数学技能検定：準1級以上
  - ii. 統計検定：3級以上
  - iii. 情報処理技術者試験(ITパスポートも含め、どの試験区分でも可)

なお、データ解析特別枠・一般枠併願で出願する場合、一般枠の出願要件も満たしている必要があります。

データ解析特別枠合格者は、入学後、本学の「卓越学生に対する授業料免除制度」の優先的適用の対象者となるとともに、1年次前期からデータ解析プログラムの活動

に参加します。

### データ解析プログラムについて

群馬大学社会情報学部では、高度な情報にあふれる現代社会で活躍できる、データ解析能力を持つ人材の育成に力を入れています。データ解析プログラムでは、1年次から3年次までを主な活動期間として、データ解析によって社会の問題解決に貢献できる人材を養成します。3年次にはデータ解析技術を活用し、社会的問題に取り組む問題解決型学習（Project-Based Learning：PBL）を行います。

## ◎ 医 学 部

### (1) 医 学 科

次の①及び②全てに該当する者

① 出身学校における調査書類、学習成績、適性評価等に優れ、かつ、調査書の学習成績概評がA段階に属し、人物も優れている者

※ ①に該当する者については、調査書に①と表示してください。

② 出身学校において、数学については、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学Bのうち2科目以上、理科については、物理、化学及び生物のうち2科目以上を履修又は履修見込みの者

※ 国際バカロレア・ディプロマ・プログラム認定校においては、数学についてはマセマティックスSL又はマセマティックスHLのいずれか、理科についてはフィジクスHL、ケミストリーHL、バイオロジーHLのうち2科目以上を履修又は履修見込みの者

上記①及び②の要件を満たし、群馬県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、群馬県からの修学資金の貸与を希望する者は地域医療枠の出願が必要です。

なお、地域医療枠で出願する者は、出願資格のほか、「群馬県緊急医師確保修学資金制度について（推薦入試）」に記載する対象者要件に該当しなければなりません。

合格者の判定はそれぞれの出願区分の基準により実施します。

#### ○ 一般枠

医師や医学研究者等を目指す一般的な選抜枠で、群馬県からの修学資金貸与を希望しない場合の出願区分です。

#### ○ 地域医療枠

群馬県の将来の医療を担うという強い意志を持ち、群馬県からの修学資金貸与を希望する場合の出願区分です。なお、入学後、地域医療枠を辞退することは、出願要件の趣旨に反することから、理由の如何を問わず認めません。

また、合格判定の結果、合格とならなかった場合、一般枠にて再度合格者の判定を行います。

- 群馬県の修学資金貸与制度の概要は、下記の「群馬県緊急医師確保修学資金貸与制度について（推薦入試）」を参照してください。
- 地域医療枠合格者は、群馬大学医学部や群馬県等が企画する県内医療に関する特別プログラムに参加します。
- 地域医療枠合格者は、卒業後10年間は、群馬大学医学部附属病院を含む群馬県内の特定病院の中から選択し、臨床研修及び診療業務に当たります。医師としての柔軟なキャリア形成が可能です。後出のキャリアモデルを参考にしてください。